

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレジオ八戸ノ里新築工事	階数	地上6F
建設地	大阪府東大阪市下小阪	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	75 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2023年3月16日
敷地面積	1,015 m ²	作成者	(株)コホーネス一級建築士事務所
建築面積	538 m ²	確認日	2023年3月16日
延床面積	2,756 m ²	確認者	(株)コホーネス一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	3.3
温熱環境	3.0
光・視環境	3.1
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.6
耐用性	3.2
対応性	2.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	2.2
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境やサービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた。資源・マテリアル性に配慮し、環境負荷低減に努めた。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、かつ高い自然換気性能を確保することで、健全な空気質環境づくりに努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にピロティや緑地を設け、敷地内温熱環境の向上に配慮。
LR1 エネルギー	LED照明設備等、設備システムの効率化に努めた。	LR3 敷地外環境 光害対策に努めた。
Q2 サービス性能	天井高さを十分に確保し、広さ感に配慮している。外壁と配管に長寿命材を採用。	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン断熱材を使用し、汚染物質含有材料の使用回避を行った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0175

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	プレジオ八戸ノ里新築工事						
	建設地	大阪府東大阪市下小阪						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.2	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							